

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-10-15

訳・解説：トマス・スペンス著『スペインソニア国憲法』（第4版1807年）

OKANOUCI, Tadashi / 岡野内, 正

(出版者 / Publisher)

法政大学社会学部学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

社会志林 / Hosei journal of sociology and social sciences

(巻 / Volume)

70

(号 / Number)

4

(開始ページ / Start Page)

11

(終了ページ / End Page)

34

(発行年 / Year)

2024-03

<資料>

訳・解説：トマス・スペンス著『スペンソニア国憲法』 (第4版1807年)

岡野内 正

【解説】

ここに訳出したのは、ベーシックインカム構想の先駆者として有名なトマス・スペンス（1750-1814）の晩年の社会構想を示す著作、『スペンソニア国憲法（*Constitution of Spensonia*）』である。副題を含む正式なタイトル、『スペンソニア国憲法，すなわちユートピアとオシアナの間にある妖精の地の国からツバメ（スワロウ）船長が持ち帰った憲法』が示すように、スペンソニア国は、「妖精の地（fairyland）」にあるとされる架空の国である。この架空の国が、当時の現実社会とは異なる社会の仕組みを外からの観察者の眼で描いて鮮烈な現実政治批判の含意を持ち、当時のイングランドの読書界で有名だった二つの架空の国の物語、すなわちトマス・モア（1478-1535）の『ユートピア』（1516）とジェイムズ・ハリントン（1611-1677）の『オシアナ』（1656）を名指していることは、この著作にかけるスペンスの意気込みを示すものと言っていい。

スペンソニアはトマス・スペンスの姓にちなんで命名されたものと思われる。彼は、早い時期にダニエル・デフォー（1660-1731）の『ロビンソン・クルーソー』（1719）の続編という設定で、「クルーソニア」の物語を出版している（1782年）。¹スペンスがロンドンに居を移してイギリスでの革命運動に深くかかわるようになってからは、フランス革命の1793年憲法の影響を受けて、あるべき憲法草案として、1798年に第二版が出た『完全なコモンウェルスの憲法（*Constitution of a Perfect Commonwealth*）』など、いくつかの著作を出版している。『スペンソニア憲法』は、その発展形と考えていい。初版の出版年は不明だが、1801年までに第二版、1803年に第三版、1807年に第4版が、いずれもスペンス自身の印刷所で印刷・出版された。

内容的には、これまでのスペンスの主張が条文の形で明確に表現されていることに加えて、とりわけ礼拝で教会堂に集まれる程度の人数からなる国教会の教区を基礎とする地区（parish）単位での土地建物をすべて共有（総有）財産として、女性を含む地区住民が共同管理して地代を徴収し、全住民個人向けに平等に分配する、改革後の農村と都市の社会生活が、人々の移動を前提として、詳細に描かれていること、さらに、植民地の存在を前提したうえで、植民地の独立を主張し、さら

¹ 以下、スペンスの生涯と作品については、岡野内正（2023）「トマス・スペンスの土地建物・生産手段総有住民自治体ベーシックインカム構想——18世紀末イングランドにおけるベーシックインカム運動の生誕」『大原社会問題研究所雑誌』778：45-65および、そこで用いた文献を参照されたい。

に第4版では削除されているがエピローグとして、フランス革命と並行して展開した西インド諸島での奴隷反乱とハイチ革命、インカ共和国への言及が見られることなどが、注目されよう。

以下の翻訳の底本は、1807年にスペインスによって印刷、刊行された彼自身の裁判に関する資料集的な性格を持つパンフレット (*The important trial of Thomas Spence, for a political pamphlet, intitled "The restorer of society to its natural state", on May 27, 1801 at Westminster Hall before Lord Kenyon and a special jury*) に収録された2007年の第4版を用いた。そのパンフレットの写真版は、インターネットで公開されている (2024年1月2日アクセス: https://books.google.be/books?id=Oj6XunVhookC&pg=PA91&lpg=PA91&dq=%22It+does+not+make+peace+with+an+enemy,+that+occupies+its+territory%22&source=bl&ots=V3Kvfnfbhg&sig=ACfU3U1iDuEvc4XxvF8HYn1_s0afEr3kXQ&hl=nl&sa=X&ved=2ahUKEwj50a3b7YLwAhVDhf0HHc_FDtcQ6AEwB3oECBEQAw#v=onepage&q&f=false)。また、打ち直して読みやすい形になったものは、Marxists Internet Archive (2023年1月2日取得: <https://www.marxists.org/history/england/britdem/people/spence/spensonia/index.htm>) にもある。Gallop ed. (1982) *Pigs' Meat : The Selected Writings of Thomas Spence, Radical and Pioneer Land Reformer*, Nottingham : Spokesman : 166-185には1803年の第3版が収録されている。それも参照し、1803年版にはなく、1807年版で付け加えられた箇所は、[] で示した。

また、語頭が大文字で表記されている語は、太字にした。また読者の誤解を防ぐために必要と判断した場合は、適宜、() で原文を示しておいた。

【翻訳】

スペンソニア国憲法、すなわちユートピアとオシアナの間にある妖精の地の国からツバメ (スワロウ) 船長が持ち帰った憲法

(CONSTITUTION OF SPENSONIA, A COUNTRY IN FAIRYLAND Situated between UTOPIA AND OCEANA, Brought from thence by CAPTAIN SWALLOW.)

第4版

結末が作品の価値を決める。(Finis Coronat opus.)

これらのわたしの言葉を心と魂におさめ、またそれを手につけて、しるしとし、目の間に置いて覚えとみなさい。これを子供たちに教え、家に座している時も、道を歩く時も、寝る時も、起きる時も、それについて語りなさい。また家の入口の柱と、門にそれを書きしるさなければならぬ。そうすれば、あなたがたの住む日数およびあなたがたの子供たちの住む日数は、多いであろう。(『旧約聖書』申命記第11章)

正義は平和を生じ、正義の結ぶ実はとこしえの平安と信頼である。

わが民は平和の家におり、安らかなすみかにおり、静かな休み所におる。（『旧約聖書』イザヤ書第32章）

憲法，その他

宣言

スペンソニアの人びとは、自然が定めた人間の権利を忘れてしまったり、軽く考えてしまったりすることこそが、この世界でさまざまな犯罪や不幸の唯一の原因だと考えました。そして、宣言を作り、そこに、神聖で譲り渡すことのできない自分たちの権利を掲げることを決めました。すべての市民たちが、政府のやること（the Acts of the Government）を、それぞれの社会組織（social Institution）のさまざまな目的といつも比較しながら、暴政によって圧迫されたり、貶められたりして苦しむことが決してないようにするためです。そして、人々（the People）には自分たちの自由と幸せの土台を、治安判事たちには自分たちが従い義務を負う決まりを、そして立法者たちには自分たちの使命の目標を、いつも目の前に置いて見えるようにしておくためです。

スペンソニアの人びとは、至高の存在の前で（in the presence of the Supreme Being）、以下のような人間と市民の権利宣言（Declaration of the Rights of Men and Citizens）を認めて、そして宣言します。

1. 社会の目的（The end of society）は、みんながそれぞれ幸せになること（common happiness）です。政府は、人間が、自然で、消し去ることができない、自分たちの権利をしっかりと用いることができるようにするために作られます。
2. その権利とは、平等、自由、安全、財産（Equality, Liberty, Safety, and Property）であり、自然なものであるとともに、獲得されたものです。
3. すべての人間存在は、自然の本性のまま、また法の前で平等です。そして、地球と地球から生まれた自然の産物の中に、ずっと続く、譲り渡すことのできない財産をもっています。
4. 法律（The law）は、みんなの想い（the general will）を、自由に、厳粛に、表現しています。法律は、守ってくれる場合でも、罰してくれる場合でも、すべての人にとって同じものでなければなりません。法律は、社会にとって、正しいこと、役に立つこと以外を命ずることはできません。

法律は、人々の害になること以外を禁ずることはありません。

5. 社会が決めるさまざまな法律 (Social laws) は、したがって、自然の権利を禁止することは決してできません。そして、すべての**男性、女性、子ども**は、自分たちが生まれた日から、死ぬ日まで、自分たちが属するそれぞれの**地区**の土地へのもともとの権利 (their primogenial right to the soil of their respective Parishes) を、ずっと持ち続けます。

6. このようにして、地区に関して、地区が入手する地代の中から、国と州 (the state and county) に対して、国と州の出費を賄うために地区に割り当てられた金額 (its appointed share (ただし1803年版では its legal quota)) が支払われ、その地区で独自に必要な出費が支払われ、その地代の残りは、議論の余地なくその地区に定住するすべての**男たち、女たち、子どもたち**の財産となり、その人たちの間で平等に分けられることになります。

7. すべての**男性市民** (male Citizens) には、等しく、公共の仕事に就く資格 (admissible to public employments) があります。自由な人々は、人を選ぶにあたって、その人の**美德と才能**以外のことに動かされたりはしません。

8. 自由 (Liberty) は、ほかの人を傷つけることなく、なんでもやってのけるような**人間**に備わっている力のことです。自由の原理は自然です。自由の約束ごとは正義です。自由を守るのは法律です。そして、**道徳の面から自由を限界づけるのは、次の格言です。「あなたがされたくないことは、ほかの人にしないで。」**

9. 出版であれ、その他のやり方であれ、自分の考えや意見を言い表す権利、平和に集まる権利、そして宗教上の礼拝を自由に行うことが、禁止されることはできません。専制政治 (despotism) は現に存在しているか、あるいはつい最近まで存在していて記憶に生々しいので、わざわざこれらの権利を人々に知らせる必要があると考えています。

10. 何であれ、法律によって禁止されていないことであれば、妨げられることはできません。誰であれ、法律が命令していないことであれば、無理強いされることはありません。

11. 安全であるということは、**市民ひとりひとり**の人格、権利、そして財産を保ち続けるために、その社会が、**市民ひとりひとり**を守りぬくことです。

12. 法律が、力づくで行われた悪行に対して、**奪われた公的、個人的な自由の復讐**をします

(avenges)。

13. 法律に定められているような場合に、法律に書かれているようなやり方に則ってでないかぎり、誰も、告訴・告発され、逮捕され、拘禁されることはありません。法律を守る役割の部局から呼び出しを受けるか、拘束されたすべての市民は、すみやかにそれに従うこととし、反抗することは罪とみなされます。

14. 法律で定められたどの場合にあってはならず、法律に書かれてはいないやり方で、ある人に敵対して行われるすべてのふるまいは、無秩序で暴虐的 (arbitrary and tyrannical) なものです。法律を尊重するならば、そのようなふるまいはできません。もしもそのようなふるまいが暴力を用いて行われるならば、それを受ける人には、武力をもって武力を撃退する権利 (a right to repel force by force) があります。

15. 請願したり、通達したり、署名したり、執行あるいは執行されたりする場合に、恣意的に行うこと (arbitrary acts) は、罪とみなされ、罰せられることとなります。

16. すべての人は、有罪と宣告されるまでは、無罪とみなされ、たとえその人を逮捕することが不可欠と判断された場合でも、身柄を拘束するのに必要な以上の過酷な扱いをすることは、法律によって厳しく禁止されねばなりません。

17. その犯罪が行われる以前に公にされた法律があって、その法律にしたがって呼び出しを受けるとまでは、誰も裁判にかけられ、処罰されてはなりません。法律が存在する以前に行われた犯罪を処罰する法律は、独裁的なものです。法律に遡及効を与えることは犯罪です。

18. 法律は、厳密かつ明確に必要な場合を除いて、いかなる刑罰をも定めてはいけません。刑罰は、犯罪に見合ったものであり、社会にとって役立つものでなければなりません。

19. 財産の権利は、市民すべてに属するもので、ひとりひとりの市民が、自分の好みや自分の財産、収入、労働、勤勉に応じて、享受したり、処分したりすることです。ただし、土地にある財産 (property in land) は、これには含まれません。土地にある財産は、同じ地区に住む市民たち (fellow parishioners) との間で分けることができず、一体となっており、譲り渡すことができないものです。

20. どんな種類の労働、栽培、商売 (labour, culture, or commerce) であろうとも、勤勉な市民が

それを禁じられることはありません。

21. すべての人は、自分が持っている働く力と時間を提供する契約を結ぶ (engage his services and his time) ことができますが、自分自身を売ることはできません。すべての人の人格は、譲ることができない財産です。法律は、奴隷労働 (servitude) を認めません。労働する人とその人を雇う人との関係は、世話を焼く人と感謝する人との関係 (an engagement of care and gratitude) でなければなりません。

22. 誰でも、本人の同意なしに、自分の財産のほんの一部でさえ、奪われることはありません。例外は、公共のための必要性 (the public necessity) があることが明らかであり、それが法的に確認され、正当な額の事前の補償 (indemnification) が行われる場合だけとします。

23. すべての人に役立つように、公共のものが欠けていて困っている状態を救うため以外には、公共収入を設定することはできません。すべての市民には、協力してそのような収入を設定し、その収入の使い道を監視し、支出明細書を要求する権利があります。

24. 公共の援助 (Public aids) は、神聖な義務 (a sacred debt) です。社会には、不運な人々の生活の糧を供給する義務があります。その義務は、不運な人々に仕事を調達するか、あるいは、労働することができない人々に向けては、生活するために必要なものを確保することで、果たされます。

25. 教育 (Instruction) はすべての人に必要なもの (the want of all) です。社会は全力を尽くして、公衆の間での理性の進歩 (the progress of public reason) を奨励すべきです。またすべての市民が教育を受けられるようにすべきです。

26. そのような社会による保証 (The social guarantee) は、人々がそれぞれ自分の権利を確実に行使し、保持し続けられるようにする、すべての人の行動によって、成り立ちます。このような社会による保証が、ナショナルな主権 (the national sovereignty) の基礎となっています。

27. そのような社会による保証は、さまざまな公共の職務 (public functions) がはっきりと法律によって定められ、公職に就くすべての人々が確実に責任をとれるようになっていなければ、存続することができません。

28. 主権は人々 (the people) のもとにあります。主権は唯一のもので、分けられるものではなく、時効の制約がない絶対的なもので、譲り渡すことができないものです。

29. 人々の中のどんな一部分であれ、人々全体の権力を行使することはできません。しかし、主権を構成するそれぞれの組織の人びと（each section of the sovereign）が集まって、自分たちの意思を形成する権利（the right of its will）は、完全に自由である（in perfect liberty）べきです。どんな個人であれ、主権を詐称したり、主権の行使を篡奪したりするような人は、自由な人間たち（free men）によって死が与えられるべきです。

30. 人びとには、いつでも、自分たちの憲法を、修正したり、訂正したり、変更したりする権利があります。ある世代は、自分たちが作った法律で後の世代を服従させることはできません。

31. すべての市民は、同意して、法を作り、市民からの委任を受けるかあるいは市民を代理する人を指名する、平等な権利を持ちます。

32. 公共の職務は、義務（duties）であって、功績あるいは報酬とみなされてはなりません。

33. 人々から委任を受けた者あるいは人々を代理する者によって行われた犯罪が、罰せられないままであってはなりません。他の市民とは違って不可侵だと主張する権利は、誰にもありません。

34. すべての個人には、公共の権威の担い手となった機関に対して請願する権利があります。この権利の行使は、いかなる場合でも、禁止、停止、制限されることはできません。

35. 抑圧に対する抵抗は、人間の諸権利から当然生じてくるものです。

36. 抑圧は、社会全体（the social body）に対して行われます。社会の一員に対する抑圧であっても、それは社会全体に対するものです。社会全体が抑圧される時には、抑圧は社会の一員一人一人に対して行われているのです。

37. 政府が人々の権利を踏みにじったとき、反乱を起こすことは、人々にとって、人々を形作る一人一人にとって、もっとも神聖で、絶対に欠くことのできない義務となります。

コモンウェルス（the Commonwealth）について

1. スペンソニアのコモンウェルスは、ひとつであり、分けることができないものです。

人びとの配分（the Distribution of the People）について

2. スペンソニアの人びとは、自分たちの主権を実行し、自分たちの土地にある財産を管理するために、それぞれの地区に配分されます。

3. 人々は行政と司法のためには、州と地区とに配分されます。

市民の状態 (the State of Citizens) について

4. スペンソニアの地区で生まれたか、あるいは住み着くようになり、満21歳を過ぎた、すべての男あるいは女は、自分の性別にしたがって、スペンソニア市民の権利を持つと認められます。

5. 女性市民 (Female Citizens) は、自分の属する地区で、男たちと同じ普通選挙権を持ちます。なぜなら女性市民は、この国では平等な財産を持ち、平等に法律を守るからです。そして実際に、女性市民は、あらゆる側面から見て、また女性市民のためにも、女性市民の子どもたちのためにも、深く、そして実際にはよりいっそう、公共のこととして行われるすべてのことに関心を持っているからです。しかし、女性たちの女性としての特性が繊細なものであること (the delicacy of their sex) を考慮して、女性市民は、すべての公共のための役職就任 (public employments) から免除されるとともに、不適格 (ineligible) とされます。

6. すべての男、女、子どもは、結婚によって生まれたかそうでないかにかかわらず (自然と正義にとって正統でない生まれ (illegitimacy) はありえないので)、自分たちが定住している地区の地代収入から平等な分け前を、四半期ごとに年に4回受け取ることができます。けれどもその分け前の分配の前に、国と州に対する公共の援助金 (the public aids to the state and the county) が差し引かれねばなりません。また地区に必要な諸経費も提供されていなければなりません。

7. すべての男 (man) は、その土地の生まれか、外国の生まれであるかにかかわらず、まる一年間住んだ場合に、その地区の定住 (settlement) となります。

8. すべての女 (woman) は、結婚するか自分の夫とともに暮す場合に、夫の地区の定住となります。

9. すべての夫に先立たれた妻、結婚していない女、夫と離婚した女は、もっとも最近にまる一年以上住んだ地区の定住となります。

10. 父親と暮らしている子どもは、父親の地区の定住となります。しかし、母親とだけ暮らして

いる場合は、母親の地区の定住となります。孤児あるいは捨て子の場合は、その子どもたちがそうなった地区の定住となります。

11. 誰も、同時に二つの地区から、地代収入の分け前を受け取ったり、投票したりすることはできません。

12. 四半期の最後の一時間に生まれた子どもの場合も、四半期の最初の一時間に死んだ人の場合も、それぞれ、その四半期分の地代の分け前の配分は受けるものとします。なぜなら、そのような場合にはいずれも、費用がかかるものであり、地区は人々に寛大な扱いをする側に立たねばならないからです。

13. 投票したり公共の役職に就くという点での市民の権利の行使は、告発が行われたり、悪名高いか苦痛の多い刑が宣告された場合には、権利回復の時まで停止されます。けれども、地区の収入の分け前を受け取る権利（his right to a share of his parish revenue）は、死亡か追放による以外に無効とされることはできません。

人々（the People）の主権について

14. 主権を持つ人々（The sovereign people）とは、普遍性をもつスペンソニア市民のこと（the universality of Spensonian Citizens）です。

15. 主権を持つ人々は、自分たちの代理人（deputies）を直接に指名します。

16. 主権を持つ人々は、選挙人（electors）に、行政官や公共の仲裁人、刑事裁判官、上訴裁判所裁判官の選択を委ねます（delegates）。

17. 主権を持つ人々は、法律について熟慮検討します（deliberates on the laws）。

地区について

18. 土地と（自然の法則による）その付属物は、住民たちの共通の資産（the common estate of the inhabitants）です。地区は、したがって、国にとっては、まとまりのある一部分として、住民たちが地区の収入と秩序維持（revenue and police）をたやすく管理できるように、あまり大きすぎないように設計されます。

19. 地区は、使用料 (tolls) や賦課金 (assessment) を取り立てることはできないが、地区の領域の地代 (rents) を取り立てることができます。
20. 地区の秩序維持は地区が行います。
21. 地区の役人 (officers) は、地区が指名します。
22. 地区は、公共の学校を支援します。
23. 農業経営者など (Farmers and such as) は、自分自身の家を建て、補修することができます。また、21年間の賃貸契約を結ぶことができますが、それ以上の期間になってはいけません。なぜなら、もっとも求められるような状態が、つねに同じ人の手に独占されてはならないからです。また、農地やその他の家屋は、時折、値踏みされることで、本来の価値よりも安く貸し出されて、地区の収入が損失を被ることがないようにするためです。
24. このような地区の資産の貸し出し事業で、より効果的に正義を貫くためには、対象となるすべての農地と家屋とは、賃貸契約が終わった時点で、公共の印刷物で適切な広告をした後に、公共のオークションによって次の契約を結ばねばなりません。
25. すべての借主 (Lease-holder) は、秩序と耐久性が保たれるように、地区が定めた基準にしたがって建築しなければなりません。
26. すべての借主はまた、賃貸契約が終わった時点で、建物、設備、柵などを、すぐに貸し出しができるように修繕された良い状態に、土地は良く耕作された状態にして戻し、スペンソニアの精神を体現しなければなりません。
27. 地主代理人 (deputy Landlords) となることは禁じられています。したがって、賃貸契約を結んだ者は、自分の家あるいは土地を、別人に貸し出すことはできません。家具や設備が備わっていない家屋や土地区画は、地区によってのみ貸し出されることができます。
28. とはいえ、宿屋経営者あるいは私人 (innkeeper or private person) ならば誰でも、ときおり、外部の人間その他を、自分の家具付きのアパートメントに宿泊させ、宿泊する人びとの家畜を放牧させたりすることができます。

29. そして、地区の中のこのような家具付きの宿泊所に、一年の大部分、あるいは、丸一年間、居住する人は、住民としての権利を得ることができます。

30. 国外出身の外国人、あるいは他の地区出身のスペンソニア人は、住民としての権利を得る前に、病気その他の理由で困窮した場合には、その時に滞在していた地区の援助を受けねばなりません。しかし、このような貧しさは、国全体の貧しさとみなされるので、援助した地区は、四半期ごとの国への分担金を送る際に、そのような貧しい地区外の人間を援助するのにかかった費用を差し引くこととなります。

31. 町にある地区は、常に、きちんと手入れされた、小さく、快適なアパートメントを十分な数だけ準備しておかねばなりません。それは、小さな部屋を求め、必要としている、労働者、職人、寡婦、その他の人びと（labourers, journeymen mechanics, widows and others）に、宿泊所を提供するためです。そのような宿泊所は、四半期ごとに区切って、適切な家賃で貸し出されます。

32. 農村部にある地区は、庭などが付いた小さな土地のある小屋あるいは小さく快適な住居を十分な数だけ用意しておくこととなります。それは、農耕畜産、鍛冶屋、車大工、その他の商人たちのもとで働く労働者や、農村部に住みたいと望む人々に宿泊所を提供するためです。そのような宿泊所は、一年ごとに区切って、適切な家賃で貸し出されます。

33. このような町あるいは農村部の小さな住居をめぐって、普通以上に好ましい状態にあるなどの理由で、借りたい人々の間で競争が起こった場合には、オークションが行われ、貸し出されることとなります。これによって陰で不平を言う人が現れるのを防ぎ、住居が価値以下で貸し出され、地区に損失を与えることを防ぎます。

34. 町あるいは農村部の地区で、住民がいっぱいになり、地区にある小さな住居がすべて貸し出され、より多くの住居が必要になった場合、地区は最初に貸し出した大きな住居が契約満期になって空き家になり次第、それを小さな住居に分けて貸し出し、人々の自由な人生航路（the free course of population）が妨げられないようにします。

35. 一つ以上の住居あるいは貸し出された土地建物を保有することは、それがたとえあちこちの地区にある場合でも、憲法に反するとみなされてはなりません。なぜなら、人は、健康を維持し、事業を営むにあたって、違う状態にある住居を使うことが同時に必要となることもあるからです。たとえば、町と農村部に一つずつ、というふうに。あるいはまた、現在契約している貸し出された

土地建物の契約が切れる前に、何かうってつけの住居を確保しておきたい、ということがあるかもしれません。

36. このようにして一つ以上の地区で定住地を獲得するような場合には、複数地区で居住する住民となりますが、投票し、地区の収益からの配当を受け取れるのは、自分が選んだ一つだけの地区となります。このような制限は、お金持ちの人びとの自然な野心や強欲さを食い止めるために必要なものです。

37. 貸し出された土地建物の所有者は、好きな時に、貸し出された土地建物を地区に返すか、あるいは契約の残りの期間だけ使用する権利を他の人に売ることができます。

38. 地区は、四半期ごとに、国や州がそれぞれの建物を置く地区の土地に対して、国や州から、公正な価格の地代を受け取ります。国については国家元首の宮殿、城、要塞、弾薬庫、海軍工廠など、州については、公会堂、病院、監獄など（State Palaces, Castles, Fortifications, Magazines, Dockyards, &c., County-Halls, Hospitals, Jails, &c.）です。

39. すべての地区は、常に一定量の穀物を、地区の人口に応じて、倉庫に蓄えておき、天候不順の際の飢饉や欠乏に備えおきます。毎年、備蓄穀物の古いものから売りさばき、その分だけ新しい穀物に取り換えることによって、備蓄穀物はいつも最善の状態に保ちます。

40. 地区が、このような穀物備蓄によって、穀物投機に飲み込まれてしまい、国全体に損害を与えるのを防ぐために、法律が、穀物取引の事業を適切に規制することになります。

41. 地区は、すべての生け垣が、標準的で低く枝を張るように接ぎ木された果樹、果実と花が楽しめるような低木、そして、木材にするのに絶対に欠かせない木のみからなるようにし、鋭いとげのある野ばらやブラックベリーや木苺などからならないように世話をすることとします。スペンソニアの人びとは、ひとりひとりみんなが領主だから土地を耕す農夫たちの福祉に大いに関心を持ち、子どもの時から公共精神を植え付けられているので、自分の土地の柵を壊したり、耕地を踏み入ったりすることは、ありません。したがって、人々は、安心して、街道に接した土地に、もっともおいしいような野菜を育てることができるようになります。人々は、畜牛から作物を守るだけでいいのです。

42. 狩猟は禁止されます。狩猟に伴う耕地の破壊が避けられないために、スペンソニアのようにほとんどが耕地となっているような国では、容認できないからです。猟鳥や猟獣は、したがって、

地面に付属するものとして、自分の敷地建物にいるすべての鳥獣を殺すことができるその土地の占有者のみの財産とみなされます。

43. 四半期ごとの支払日には、貸し出された土地建物の地代は、地区の会計事務所で、地区の会計官に支払われねばなりません。

44. それに続く数日のうちに、地区の収支報告書が作られます。国や州に支払う分担金を取り除けておいて、地区のすべての事業の収支決算を出し、人々に返還されるべき地代収入がどれだけ残っているかを明らかにしたのち、収支報告書は、詳細に至るまで印刷されます。そこには、地区のすべての男、女、子どもの名前が含まれますが、この人たちが地区住民として、地区収入の配当を受けとる資格のある人たちです。その中で投票できる年齢に達した人の名前には、星印を付けてさらに区別できるようにします。

45. このような作業がすべて適切に行われて準備が完了したとき、地区住民は、自分の配当を受け取りにくるように、ラッパの音で呼び集められます。その時同時に、地区の収支報告書の印刷物が、世帯ごとの人数分だけ家族の長に、また個別に請求する人にも渡されます。

国の代表権 (the National Representation) について

46. 地区は、国の代表権の唯一の土台です

47. 国を構成する地区の数が1000を超えない場合、各地区には一人の代表者 (deputy) を置きます。

48. 1000を超える場合には、それぞれの州内で、隣り合う二つの地区を一組にします。ただし、地区の数が奇数であるために一つの地区が組になれない場合は、どの地区を単独にするかをくじ引きで決めます。なぜなら、一つの地区が二つの地区であるかのように単独で代表を送ることは、その地区の特権となるからです。

49. 国を構成する地区が2000を超える場合には、それぞれの州内で、隣り合う三つの地区を一組にします。ただし、一つあるいは二つの地区が余ってしまう場合には、先述のようにくじ引きでそのような地区を決めて組を作ります。二つの地区が余る場合には、それらが隣り合った地区にあるようにして、一組にします。このようにして、国を構成する地区の数がいくつであろうとも、国の代表権を持つ人々の数は、1000を超えないようにします。

50. 国の代表権者の選挙は、組となったすべての地区で、同じ日に行われます。開票が済むと、全体の開票のための委員を一人 (a Commissioner)、地区が指定した場所を送ることになります。

51. 選挙による代表の選出は、個々の選挙での投票者数の過半数 (the absolute majority of individual suffrages) で決められます。

52. 投票者数の過半数を獲得する候補者がいない場合には、第二回投票が行われます。それは最多得票の候補者とその次点の候補者との間での投票になります。

53. 得票数が同じ場合には、年長者が優先されます。候補者とされるか、実際に選ばれることになります。年齢が同じ場合には、くじ引きで決めます。

54. すべての男性の市民 (male citizen) は、市民としての権利を行使することが、コモンウェルスの領域内で (through the extent of the commonwealth) 適格だとみなされます。

55. 代表ひとりひとは、国全体 (the whole nation) に所属するものとします。

56. 代表が、不承認、退職、失職あるいは死亡した場合、その代表を選出した地区あるいは地区の組み合わせによって、次の代表が選出されます。

57. 辞表を出した代表は、次の代表が承認されて就任するまで、代表をやめることができません。

58. スペンソニアの人びとは、毎年の5月1日に、選挙のために自分の地区で集まります。

59. スペンソニアの人びとは、投票をする権利を持つ市民が何人集まってきたかにかかわらず、その集まりを進めます。

選挙のための集まり (Electoral Assemblies) について

60. 市民は、自分の地区で集まり、州のために数名の選挙人を選びます。

61. 選挙人の集まりは、地区で自分たちを選出したように、進められます。

立法府 (the Legislative Body) について

62. 立法府は、一つであり、分けることができないもので、常にあるものです。
63. 会期は一年間です。
64. 7月1日にそれは始まります。
65. 国民議会（The National Assembly）は、代表たちの過半数が構成するものでなければ、成立しません。
66. 代表たちは、立法府で表明した意見のために、いつ何時といえども、尋問され、告発され、裁判にかけられることは、ありません。
67. 代表たちは、犯罪行為のために逮捕されることはあります。しかし、逮捕令状、あるいは出頭命令が、立法府によって承認されることなく、代表たちに対して出されることはありません。

立法府の議事の進め方（Holding of the Sittings of the Legislative Body）

68. 国民議会（The sittings of the National Assembly）は、公開されます（public）。
69. 国民議会の議事録は、印刷されます。
70. 国民議会は、少なくとも議員たちによって構成されない場合には、審議する（deliberate）ことができません。
71. 国民議会は、議員たちが要求するようなしかたで、議員たちが議会で語るのを拒むことはできません。
72. 国民議会は、出席した議員の大多数によって、じっくりと議論します。
73. 50人の議員で、*再審議*を要求する（require the *appeal nominal*）ことができます。
74. 国民議会は、議員の行為について、秘密会で問責する権利を持ちます。
75. 警察の任務は、国民議会の議論に従って、国民議会が決めることを実行します。

立法府の機能について

76. 立法府は、法（laws）を提案し、法令（decrees）を可決します。

77. 法という一般的なことばは、次のようなことがらに関する立法府の行為として、理解されるものとします。民事および刑事に関する立法、国の歳入に関する全般的な管理、コモンウェルスの通常の歳出、お金に関して、その呼び方、重さと刻印の仕方、そして単位の設定、宣戦布告、公共の教育、そして偉大な人々の記憶に対する公共的な名誉を与えることです。

78. 法令ということばには、年々、陸と海で軍事力を作りだしていくことに関する、次のような立法府の行為が含まれます。スペンソニアの領域を外国の軍隊が通過することの許可あるいは禁止、外国の海軍をコモンウェルスの諸港に入港させること、一般的な安全と静穏の諸手段、年々および一時的な公共の援助と事業の配分、あらゆる種類の貨幣の製造命令、予見できない異常な出費、地元での行政のための諸手段、すなわちあらゆる種類の公共事業、領土の防衛、条約の批准、軍司令官の任免、役員メンバーと公務員の責任追及、コモンウェルスの一般的な安全に反する陰謀を企てた人物の告発、スペンソニアの領域の部分的な配分のあらゆる変更、ナショナルな補償の支払い。

法の形成について

79. 法律を提案するには、まず、報告書（reports）が必要です。

80. その報告書が出されて15日が経過するまでは、それについての討論を始めることも、その法律を暫定的に決めることはできません。

81. 法律の提案は、「提案された法律」という表題をつけて印刷され、コモンウェルスのすべての地区に送られます。

82. その提案された法律が送られて40日たってから、半分以上の州の中で、地区の10分の1以上が反対しなければ、その提案は受け入れられ、法律になります。

83. 反対がある時には、立法府は、地区を招集して会議を行います。

法律や法令の表題について

84. 法律、法令、判決、そしてすべての公共の決まりごとには、次のような表題がつけられます。「スペンソニアのコモンウェルスの…年、スペンソニアの人びとの名において」

最高行政委員会（the Executive Council）について

85. 24名からなる最高行政委員会を置きます。
86. 国（the nation）にある州の数が24以上の場合には、それぞれの州の選挙集会（The electoral assembly）が、1人の候補者を指名します。それ以下の場合には、2人を指名します。立法府は、そうやって作られる候補者名簿から委員会を構成する委員を選びます。
87. 最高行政委員会の半数は、会期の最後の月に、立法府によって更新されます。
88. 最高行政委員会は、行政全般について、指導し、監督する責任を負います。その際、立法府の法律や法令の執行以外の行動をすることはできません。
89. 最高行政委員会は、その構成員とは別に、コモンウェルスの行政全般を担当する事務長たち（the agents in chief）を指名します。
90. そのような事務長たちの数と役割については、立法府が決定します。
91. それらの事務長たちで委員会を形成することはありません。事務長たちは、お互いに連絡を取り合うことはせずに、相互に離れていて、事務長たちが個人的に権威をもつことはありません。
92. 最高行政委員会は、その構成員以外から、コモンウェルスの外交官を指名します。
93. 最高行政委員会は、条約の交渉をします。
94. 最高行政委員会の構成員が汚職をした場合は、立法府によって告発されます。
95. 法律や法令が執行されない場合、また、最高行政委員会が非難しない法律や法令の悪用があった場合には、最高行政委員会がその責任を負います。
96. 最高行政委員会が、役人たち（the agents）をやめさせ、後任を指名します。
97. 司法当局が動く前に機会があれば、必ず辞めさせるべき役人を非難しなければなりません。

最高行政委員会と立法府との結びつきについて

98. 最高行政委員会は、立法府の近くに位置し、立法府の議場に入る権利を持ち、立法府とは別の席を占めます。

99. 最高行政委員会が報告書（an account）を出すたびに、立法府による聴聞会が開かれます。

100. 立法府は、立法府が必要と認めた場合に、最高行政委員会の全員あるいは一部の人々を立法府の議場に呼び出します。

行政府（The Administrative）と州の政体（County Bodies）

101. それぞれの州には、州の中心となる行政府（a central administration）を置きます。

102. 州の行政府の管理職と事務官（The officers and administrators）は、州の選挙集会で指名されます。

103. 州の行政府の役人（The administrations）は、毎年、半分ずつ更新されます。

104. 州の行政府の事務官と管理職には、代表の性格（character of representation）はありません。いかなる場合でも、立法府の行為を修正することはできません。あるいは、立法府の行為の執行を停止することはできません。

105. 立法府は、州の行政府の管理職および事務職の職務、従うべき規則、そして受けることになるかもしれない罰則を定めます。

106. 州の行政府の役人の座（The sittings of administrations）は、公衆に開かれています（public）。

107. 州の選挙集会は、学校、病院、刑務所、橋のような州の建物を建てたり、修理したり、港や道路などを造ったり、修繕したりするための州の公共支出を支払えるように、それぞれの地区に、四半期ごとに、何ポンドになるかの分担金を割り当てます。

108. 州の財政は、毎年決算され、人々が満足できるような詳細を含めて印刷され、各地区に送られます。

民事裁判について

109. 民法と刑法の法典は、コモンウェルスの全体で統一します。
110. 市民の間での意見の違いについて、市民が選んだ仲裁人によって判断してもらう市民の権利は、侵犯されてはいけません。
111. そのような仲裁人の決定は、市民が仲裁人に反論する権利を放棄しない限り、最終的なものとなります。
112. それぞれの地区には、市民によって選ばれた治安判事（Justices of the peace）を置きます。
113. 治安判事は、費用をとらずに、調停し、仲裁判断を下します。
114. 選挙集会によって選ばれた、公共の仲裁人（public arbitrators）を置きます。
115. 公共の仲裁人の人数と巡回については、立法府によって決められます。
116. 公共の仲裁人は、治安判事の私的な仲裁によって最終的に解決されなかった紛争を取り扱います。
117. 公共の仲裁人は、公共の場で審議し、仲裁人の意見を、声を出して公表し、裁判の手続きや費用を取ることをせずに、口頭の弁明あるいは端的な記録に基づいて、最終的な宣告を行い、その決定の理由を明らかにします。
118. 治安判事と公共の仲裁人は、毎年、選任されます。

刑事裁判について

119. 刑事事件の場合には、いかなる市民といえども、陪審員によって受け付けられた審査状、あるいは立法府の命令なしでは、審理されることはありません。被告人は、自分で選ぶか、あるいは公的に任命された弁護人がつきます。審理は公開されます。事実と意図が陪審員によって明らかにされます。罰は刑事裁判所によって適用されます。
120. 刑事裁判所裁判官は、選挙集会によって、毎年選出されます。

控訴審判所（the Tribunal of Appeal）について

121. コモンウェルス全体に、一つの控訴審判所を置きます。

122. この審判所は、事件の実態には関知しません。法の形式が破られているか、明らかな違反が見られるかを明らかにします。

123. 控訴審判所の裁判官は、選挙集会で、毎年、任命されます。

国庫 (the National Treasury) について

124. 国庫は、コモンウェルスが受けとるものと費やすものとの中心点です。

125. 国庫は、立法府によって課せられる、地区の地代への、四半期ごとの賦課金 (a Poundage) によって供給されます。

126. この賦課金が国のあらゆる目的にとって十分であり、地区によって四半期ごとに費用をかけずに送られてくるならば、歳入に関する法律や役人 (revenue laws and officers) は、不必要なものとなります。

127. 国庫に関することは、最高行政委員会によって任命される、会計報告のできる代理人 (accountable agents) によって管理されます。

128. これらの代理人は、立法府メンバーではなく、立法府によって任命される委員たちによって、監督され、立法府メンバーが非難しないような不正使用について、責任をもって対処できる人が任命されます。

会計報告 (Accountability) について

129. 国庫の代理人、および公共のお金の管理人の会計報告は、毎年、最高行政委員会によって任命されて責任を持つ委員に渡されます。

130. 会計報告の検証は、立法府メンバーではなく、立法府によって任命された委員たちによって監督され、立法府のメンバーが非難しないような間違いや誤用について、責任を持ちます。立法府がその会計報告を承認します。

131. 国の会計報告 (The National Accounts) は、毎年印刷され、人々が満足するように詳細に記

録され、地区に送られます。

共和国（1803年版はコモンウェルス）の軍隊（the Force of the Republic）について

132. コモンウェルスの軍隊は、すべての人々（the whole people）によって構成されます。

133. コモンウェルスは、平和な時であっても、海上や陸上にある武装した軍隊には、給与を払います。

134. スペンソニアの人々全員が、兵士（soldiers）です。そして、全員が武器の使い方を訓練されています。

135. 軍の総司令官としての大元帥（Generalissimo）はいません。

136. 軍隊の中での階級の違い、それに伴う階級章や上下関係は、軍隊の仕事だけのためであり、軍隊の仕事の間だけのものです。

137. 国内での秩序と平和を維持するために雇われた公共の軍隊は、正式の書類の要求に基づくことなく行動することはできません。

138. 外からの敵に対抗するために雇われた公共の軍隊は、最高行政委員会の命令によって行動します。

139. 議論する際に武装してはいけません（No armed bodies can deliberate）。

憲法修正について

140. 過半数の州で、恒常的に集まっている10以上の地区が、憲法の修正、あるいはその条文を変えることを要求した場合には、立法府は、コモンウェルスのすべての地区に対して、憲法を修正する余地があるかどうかを知らせるようにします。

141. 憲法修正会議は、各州からの2名ずつによって構成されます。

142. 憲法修正会議は、立法や統治に関する機能を持つことはありません。憲法修正だけを行います。

143. すべての政府機関は、憲法修正会議が提案した変化が人々に受け入れられ、新しい政府機関が動き始めるまで、それまで通りに機能し続けます。

144. 憲法修正会議は、そこで合意された修正案を、ただちに地区に届けます。修正案が届くとすぐに、憲法修正会議は解散します。

スペンソニアのコモンウェルスと他の諸ネーションとの相互関係 (Correspondence) について

145. スペンソニアの人々は、あらゆる自由な人々 (every free people) の友であり、お互いに助け合う同盟者です。

146. スペンソニアの人々は、ほかの諸ネーションの政体に干渉しません。スペンソニアの人々は、ほかのネーションが自分たちの政体に干渉することも許しません。

147. スペンソニアの人々は、自由を求めたために自分の国を追放された外国人に避難所 (an asylum) を提供します。その人々を暴君 (tyrants) に渡すことはしません。

148. スペンソニアの人々は、自分たちの領土を占領する敵と平和にやっけていくことはしません。

権利の保証 (the Guarantee of Rights) について

149. この憲法は、スペンソニアの人々全員が、平等、自由、安全、地区共有財産と対になった私有財産 (Property parochial and private)、自由な信仰の実践、共通知識を共有する教育、公的な救援、出版の無制限な自由、請願する権利、大衆的な諸組織が集会をする権利、すべての人間の権利を享受することを、保証します。

150. スペンソニアのコモンウェルスは、忠実であること、勇気をもつこと、親に敬意を持つこと (filial piety)、逆境にあること (misfortune) を、名誉なことだとみなします。スペンソニアのコモンウェルスは、自分たちの憲法を、あらゆる美德の守護のもとに預けています。

151. この権利宣言、そして憲法は、立法府の議場 (the Bosom of the Legislative Body) やさまざまな公共の場所に置かれたテーブルに刻まれます。

植民地建設 (Colonization) について

152. スペンソニアは、外国の地域、自治領、あるいは植民地（foreign provinces, Dominions, or Colonies）から得るすべての財政的な利益（financial benefits）を放棄します。

153. しかしながら、比類のない結婚奨励策、膨大な数の外国人の流入によって、この憲法のもとで暮らす住民の数は、必然的に増えるに違いありません。そして、同じくこの憲法の恩恵を受けている植民地は、母国からあふれた住民たちを惹きつけるうってつけの場所になるにちがいません。

154. （したがって）今のところスペンソニアに属しているか、あるいはこれから先にスペンソニアによって作られることになる大小さまざまなすべての植民地は、よろこんでスペンソニアと同様の憲法を採用して実施するようあらゆる形で促され、そうするやいなや、独立した諸国であると宣言されることとなります。こうしてそれらの植民地は、スペンソニアのもっとも親密な同盟国とみなされ、母国が提供できるあらゆる保護を受けることができるようになります。

【安息日すなわち休日（the Sabbath or Day of Rest）について】

155. 人間たちと働く動物たちの霊(the spirit of men and labouring animals)を、清らかにし、刷新するために、スペンソニアの1週間は、5日間だけとします。5日目は、安息日すなわち休日とします。したがって、4日目は、常に、市場の日（market-day）であり、働く人たちが賃金を支払われる日（pay-day）となります。

おしまい（FINIS）

エピローグ

[いにしえの人びとの間であんなに有名だった黄金時代、
それはいまじゃ伝説じゃない。
暴君のライオンは、雄牛のように草をはみ、
まだ話せないおさなごが、なついたトラたちを連れ歩く。
遊び盛りの乳飲み子たちが、猛毒のエジプトコブラたちと遊び、
陽気で朗らかな日が嫌なことで台無しになったりはしない。
そう、かつて預言者たちが予言した無上の喜びのすべて、
そして、かつて詩人たちが古くから描いてきたことのすべて、
人に歓びを産み出すもの、それがいま、見える。
そして、永遠の命の樹のように、いつまでも栄える。]

さあ、死すべき人間たちよ、大いなる自然の設計図を称える輪に加わろう。
大自然が人間のものとした権利は、すべて赤ん坊たちのものでもあるのだから。

合唱。——「裏の路地のサリー（Sally in our Alley）」の曲に合わせて。

さあみんな、心を合わせて手をつなごう、
田舎でも、町でも、都会でも。
男も女も、老いも若きも、
きれいな若い衆も娘さんたちも。
一刻も早くこの黄金時代がくるように、
どこの丘でも、どこの谷でも。
すると、天国が目に映るようになる。
どこの通りでも、どこの路地でも。]

（以上の1807年版のエピローグは、『乳飲み子の権利』の一部として出版されたものだ。それ以前の版では、スペンス式表記法で印刷された以下の文章があった。——訳者注）

なんて哀れな友だちだ、私たちは
こんなにも深く自由が奪われて！
次から次へと誰かが誰かを告発する
それが私たちを悩ませ続ける。
どんなに念入りにことばを選ぶことを強いられることか
それでもあえて話そうとする前に！
だがもうよい、来るものは来い、
私の仕事を黙らせて閉じこめるなんて、軽蔑すべきこと。
私の本が奇妙な用語で書かれているとしても、
私はそれをサント・ドミンゴに送る。
インカの人々の共和国へ、
さまざまの法律をどのように組み立てるかの一例とするために。
なぜなら、いったい誰が、あの千年王国が
私の哀れな頭蓋骨から立ち上がってこないなどと言えるのか？
いったい誰が、知っているというのか？
千年王国が西インド諸島から現れることを神が喜ばれるかもしれないことを。
そんなことを考えるからといって、私はみなさんに危害を加えるつもりはありません。
はてさて、これで私の提案はおしまい。